（様式2） 実行計画管理シート

事業名	25	新名神高速道路等整備促進事業	部・課	土木部　土木総務課

総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち
	施策目標等		4　安全で快適な交通環境が整うまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		4　人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる
総合戦略との関係	基本目標		1　産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める
	施策目標		3　安全で快適な交通環境が整うまち
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	○	交通渋滞は、経済損失につながり、地域経済の発展を妨げる。 新名神高速道路へのアクセス道路の整備や淀川渡河橋の実現に向けた取り組みを進める。
	2016(H28)年度市政運営方針	○	新名神高速道路へのアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線の早期完成を大阪府に働きかける。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要 （目的・内容等）	交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化等につなげるため、新名神高速道路及びそのアクセス道路となる内里高野道線などの整備に向けて、事業者であるNEXCO西日本や国、大阪府に対し働きかけを行う。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・沿線校区コミュニティ協議会との協議のもと、事業者・府・市にて沿線地域への事業説明会及び設計説明会を実施し、市ホームページなどを活用し情報発信を行う。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・新名神高速道路の早期完成に向けてNEXCO西日本や大阪府と協議、国への要望
	実績（評価）	・新名神高速道路及びアクセス道路となる内里高野道線の早期完成に向けてNEXCO西日本や大阪府と協議を行った。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	新名神高速道路については、本市にとって防災面や市内産業の活性化などに効果が期待できるが、地域への影響もあることから、地域住民の理解が得られるよう努める必要がある。		
今後の対応	新名神高速道路及びアクセス道路については、市民生活や企業活動など、また沿線地域の周辺環境に十分配慮した整備が行われるよう事業者に働きかけを行っていく。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
国道1号における交通量	○		46910 (H25)	45841 (H26)	44286 (H27)				－	台
指標の説明										
国道1号における交通量(1日あたり・12時間調査)			第二京阪道路の全線開通など交通ネットワークの整備進捗に伴い主要幹線の交通が分散し、国道1号の交通量は減少傾向にある。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）